

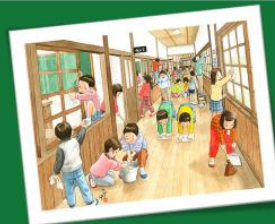
七飯老大ニュース

2022. 8. 19 発行:七飯老人大学事務局

人が育てることの出来ない
まちの未来は暗い。
教育は投資



第11回講座 「七飯歴史探訪」 テーマは『学校』です。



【講師】七飯町歴史館 学芸員 山田 央氏



正確に言えば、「学校と地域」です。

今回は、七飯町内各地域にある(あった)「学校」の歴史を紐解きます。

注目すべきは、子どもたちの成長と幸せを願い、「学校での教育が重要」と、学校の開設(開校)、建設、運営に情熱を傾け奮闘した地域の人々です。「地域のことは自分たちで決め、自分たちでやる」を実践した人々がいたことです。

動かしたのは地元有志

地域の有志が理解し、機運が高まった大中山小学校

明治14年、大中学校として開校、すぐに大中山学校へ
戸長 布川満五郎が教育の必要性をうったえたが、至らず。
総代川上勘八、石井熊右衛門、岩崎恒右衛門らを説得
川上、石井は各戸をまわり寄付と村意をあつめる
その後二ヶ月ほどで開校へ至る

<受講者の声>

◆大変、大変、いい話であった。もっと、それぞれの学校について話を聴きたかった。

- ◆「教育は投資」であり、地域の大人の声の人が動かすということですね!
- ◆当たり前に通っていた学校。地域住民の強い意志が必要なんだという感動を覚えた。
- ◆七飯の各小学校の設立が、地域の願い、力によってなされたことを知り興味深かった。
- ◆昔の人たちの心意気がよくわかりました。今、私たちにできることは何だろうと思います。
- ◆「教育は投資」。重く受け止めました。

地元の力、3ヶ月で設立

私設からはじまった、大沼小学校

明治37年開校

宇喜多秀夫ら8人が呼びかける

入植者増による児童数増(60人くらい)

軍川小学校まで、道もままならず、通学至難

3月に趣意書提出、6月開校

長屋の一部を改造し教室に、指導は有志2名からはじまる

有志の声で寄付募る

大沼地区で最も古い学校、軍川小学校

明治13年、軍川変則小学校として開校

総代 松本左工門・先駆者 林八郎兵衛が発起、寄付募る

寄付金八十九円を集め、十坪の校舎を新築

なぜ「変則」なのかは不明



昭和36年、鉾山の閉山に伴い閉校した
精進川小中学校の
運動会風景